

DOCUMENT series 169 Eye

混合交通を観察する



進路変更時、ウインカーを3秒以上点滅させているか?

WHY

最近、進路変更時にウインカーを出さずの遅かったり、まったく出さないクルマやバイクを見かける。運転手は「進路変更する場合には進路を変える3秒以上前に合図を行なう」ことがルールとなっている。3秒以上ウインカーを点滅させていることによって、自分は進路変更の意思があることを周囲に伝えることができる



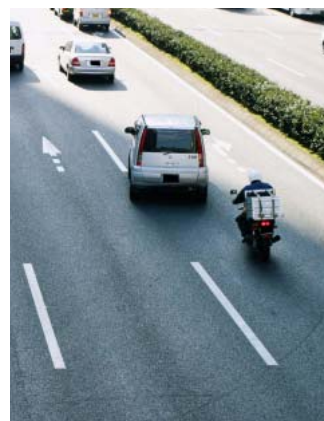
後方にクルマがいるにもかかわらずウインカーを出さないクルマ

クルマやバイクが走行中に進路変更する場合、このルールを守っているのかどうかを観察してみた。

観察場所 / 東京都新宿区西新宿3丁目 国道20号
観察日 / 2月5日(木曜日)
天候 / 晴
観察時間 / 14:10 ~ 15:10
観察者 / 4名

1時間に進路変更を行なった車両346台中、ウインカーを点滅させなかった車両136台

車両の進路変更時におけるウインカーの点滅状況を観察する



バイクの前に割り込むクルマも目立った

約4割の車両が進路変更時ウインカーを点滅させていない

WATCHING

観察場所はJR新宿駅や東京都庁などに近い、国道20号(片側4車線)。交通量は多かったものの、流れは良かった。走行中に進路変更(車線変更)を行なった車両について、ウインカーを点滅させた車線から車線変更をした地点までのウインカーの点滅状況について観察した。その結果、ウインカーをルール通り、3秒以上点滅させて進路変更した車両は、346台中46台とわずか13.3%に過ぎなかった。

進路変更時にウインカーの点滅が3秒未満だった車両は346台中164台(47.4%)。その多くはウインカーを点滅させると同時に進路変更を開始していたり、進路変更を始めてから遅れてウインカーを点滅させるケースだった。また、携帯電話を使用しながら運転しているドライバーにウインカーの点滅時間が少ないケースが観察された。

ウインカーをまったく点滅させずに進路変更をおこなった車両は346台中136台(39.3%)。内訳は四輪車91台・二輪車45台だった。これらは交通量が比較的少なく、前後の車間距離も十分にあったときに多く観察されたが、実に4割

車線変更しようとする車両のウインカー点滅状況

	ウインカー点滅3秒以上	ウインカー点滅3秒未満	ウインカー点滅なし	小計
大型車・バス	3	8	4	15
乗用車	33	132	87	252
二輪車	10	24	45	79
小計	46	164	136	346

PROPOSE

3秒は進路変更の意思を周囲に伝えるための大切な時間

点滅させて進路変更しようとしたもの。その男性は右後方からの後続車にクラクションを鳴らされたために車線の変更を中止した。

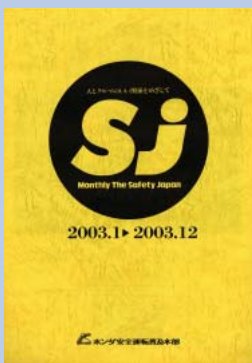
今回の観察で、進路変更を行なおとすドライバーの多くがウインカーを点滅させている時間が短く、出すタイミングも遅いという結果を得た。車線変更はその3秒以上前に合図を行なうことがルールである。ドライバーやライダーは周囲の交通状況を確認し、ウインカーを3秒以上点滅させ、後方確認してから進路変更を開始してほしい。

3秒という時間は、周囲に自分の意思を伝えるために最低限必要な時間である。後続車などに進路変更の意思が伝わらないと思われ接触事故や追突事故を起こす可能性があることをドライバーやライダーは再認識すべきである。



車線をまたいでいるのにウインカーを出さないバイク

月刊「ザ・セーフティジャパン」2003年分縮刷版発行



日頃よりSJをご愛読いただき、ありがとうございます。本紙では交通安全教育にかかわる様々な話題を取り上げ、充実した紙面づくりに努めております。本紙2003年分の縮刷版をご希望の方にお分けいたします。切手2000円分を同封の上、下記までお申し込みください。〒107-0062 東京都港区南青山3-4-7 第7SYビル6階 (株)アストクリエイティブ「SJ縮刷版」係